

Jan

25



2025年度 YMCAせとうち 倉敷野外活動1月のご報告

参加者：29名、スタッフ：1名、ボランティアリーダー：10名

新年最初の活動は、倉敷市自然の家にて「ちょっと早めの節分」をテーマに実施しました。「あけましておめでとう！」と元気な挨拶で集合した子どもたち。バス車内もお正月の思い出話で持ちきり、幸先の良いスタートとなりました。

到着後は、節分にちなんで「ケイドロ」を行いました。鬼のお面をつけたリーダーたちが登場すると、子どもたちは大はしゃぎ！「こっちだよ～！」「もっと本気で追いかけて！」と声をかけながら、芝生広場を縦横無尽に逃げ回ります。捕まった仲間をみんなで助け出し、結果は子どもチームの圧勝。寒さを忘れて走り回りました。

お昼はいよいよメインイベントの恵方巻作りです。「食べたことはあるけど、作るのは初めて」という子が大半で、まさに初体験の連続でした。酢飯をうちわであおいで冷まし、海苔の上に好きな具材をのせて、丁寧に巻いていきます。「見て、うまくできた！」「めっちゃ太くなった～」と、予想以上にみんな器用に巻き上げ、立派な恵方巻が完成しました。





今月の隊長 まめすけリーダー



今年の恵方「南南東」を向き、願い事を思い浮かべながら黙々と食べ進めます。静寂のあの「めっちゃ美味しかった！」という笑顔が印象的でした。リーダー特製のあたたかいお味噌汁も大好評で、心もお腹も満たされる時間となりました。

午後は、グループタイムです。森のお店屋さんで「いらっしゃいませ～」と元気に声をかけてお客様を呼んだり、基地作りでグループだけの秘密の暗号を作ったり、いろんなところに探検に出かけたりなど、時間いっぱいグループで考えた遊びを楽しみました。

【担当ディレクターより】

今月は「恵方巻」という、普段出来ない事に挑戦しました。正直、うまく巻けるか少し心配していましたが、子どもたちの集中力と丁寧な手つきには驚かされるばかりでした。

活動の中で、子どもたちに「どんな願い事をする？」と尋ねてみました。自分のこと、家族のこと、あるいは誰か他の人のこと……。どの子の願いも、とても優しく素敵なものでした。

子どもたちに、「願いごとは、その願いに向かって自分から動いたとき、叶う可能性はぐっと高くなるよ」という話をしました。

これからも野外活動を通じて、子どもたちが「願い」や「目標」に向かって自ら一歩を踏み出し、挑戦できる時間をたくさん作っていきたいと考えています。

担当ディレクター：三ツ橋武志（ジェットリーダー）